

## 化学物質等の用語解説

名称等		解説
TP	全炭化水素	メタン、エタン等炭化水素化合物の総量 炭化水素とは、C(炭素)とH(水素)のみで構成される有機化合物
O <sub>2</sub>	酸素	空気中に21%含まれる。 18%以下になると酸欠の可能性
CO <sub>2</sub>	二酸化炭素	動物の呼吸や、石油、石炭の燃焼によって発生する気体 それ自体は無害だが、地球温暖化の原因物質のひとつ
CH <sub>4</sub>	メタン	一番単純な有機化合物 天然ガスの主成分で、自然界に広く存在する。
H <sub>2</sub> S	硫化水素	最も簡単な硫黄化合物で、腐卵臭のする無色の気体 火山ガスに含まれる 労働安全規制値10ppm
VOC	揮発性有機化合物	沸点が260 未満の有機化合物の総称 主なものにベンゼンやトリクレン等がある。
PH	水素イオン濃度	酸性、アルカリ性の指標で、0～14の範囲で表す。 7未満が酸性、7が中性、7より以上がアルカリ性
SS	浮遊物質	水中に浮遊している物質の量で、水の濁りの指標
T - Cr	全クロム	クロムは、必須元素のひとつだが、クロム化合物には有害なものがある。 六価クロムは、特に有害
T - N	全窒素	富栄養化の指標、これが多いと植物プランクトンが増え、富栄養化する。
DO	溶存酸素	水中に溶存している酸素の量 汚濁が進むほど酸素量が低下する。
TOC	全有機炭素	有機化合物中の炭素の総量 BODやCODと同様水質汚濁の指標のひとつ
BOD	有機化学的酸素要求量	水質の指標のひとつ 微生物が有機物を分解するときに消費する酸素の量
COD	化学的酸素要求量	水質の指標のひとつ 有機物を酸化剤で酸化するときに消費する酸素の量
Cl <sup>-</sup>	塩素イオン	水に溶けている主要成分 ヘキサダイアグラムは、これらを1つの図形として表したもので、水質の特徴を見るのによく使われる。
HCO <sup>3-</sup>	重炭酸イオン	
SO <sup>4-</sup>	硫酸イオン	
Na <sup>+</sup>	ナトリウムイオン	
K <sup>+</sup>	カリウムイオン	
Ca <sup>2+</sup>	カルシウムイオン	
Mg <sup>2+</sup>	マグネシウムイオン	
EC	電気伝導率	電気の流れやすさの指標 水中にイオンが多いほど電気が流れやすくなる。
第1種特定有害物質		揮発性有機化合物のうち、土壤汚染対策法で定められた11種類で、有機塩素化合物10種とベンゼンをいう。 第二種は、重金属類9種類、第三種は、農薬等5種類が定められている。
電気探査	物理探査の一種	地層と廃棄物層との電気抵抗の差により廃棄物層の深さを測定する。 ボーリング調査を補足し、廃棄物の量を把握する。
バックホウ掘削	油圧ショベルの一種	鍬のように手前に掘る作業機 パワーショベルやコンボは、特定メーカーの名称が一般化したもの
PID(PID - GC)	ポータブルガスクロマトグラ	揮発性有機化合物を現場で分析する装置 迅速かつ高精度な調査結果を得るために必要不可欠
コンタ図	濃度分布図	ガス調査の場合、濃度の高い部分から低い部分まで段階的に色分けすること
トレンチ掘削	塹壕状掘削	帯状の区画を設定し、その部分を掘削すること 廃棄物の空気(酸素)に触れる面積を大きくし、嫌気発酵を止める
不織布	織らない布	基本的機能として通気性に優れ、吸水性又は撥水性等用途に応じて機能を持たせることができる。 廃棄物の場合には、空気を通し、水を通さない不織布を上部にかぶせる。